

災害に負けない、強靱な県土づくりに向けた愛知県の海岸整備(防災・安全)緊急対策

計画概要

◆計画期間

平成27年度～平成31年度(5年間)

◆計画の目標

南海トラフ巨大地震などの大災害に備え、愛知県沿岸地域において、住民の津波避難に資する社会資本の老朽化対策や事前防災・減災対策等を一体的、総合的に実施し、安全安心な地域づくりを実現する。

◆計画の成果目標(定量的指標)

あいち地震対策アクションプランに位置付ける海岸堤防等の耐震化率を58%にする。

海岸堤防の耐震化率(%)

(耐震化した堤防等延長:照査による不要区間含む) / (優先対策計画延長)

評価内容

◆ 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
A 海岸事業	6,297百万円	一色海岸を始めとする海岸堤防の耐震化等を実施	75.7%
B 関連社会資本整備事業	0百万円		%
C 効果促進事業	0百万円		%
合 計	6,297百万円		

※事業費は実績額

※進捗率(%)は各事業の計画に対する実施割合【延長ベース】

◆ 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況（別紙1）

名古屋港海岸 海岸耐震対策緊急事業により、海岸堤防の耐震化対策を実施し、背後地の浸水被害に対する安全度が向上した。(別紙1)

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標(海岸堤防の耐震化率)

最終目標値	58%	目標値と実績値に差が出た要因	本計画における交付金事業費の減少により、事業計画に遅れが生じたため。
最終実績値	21%		

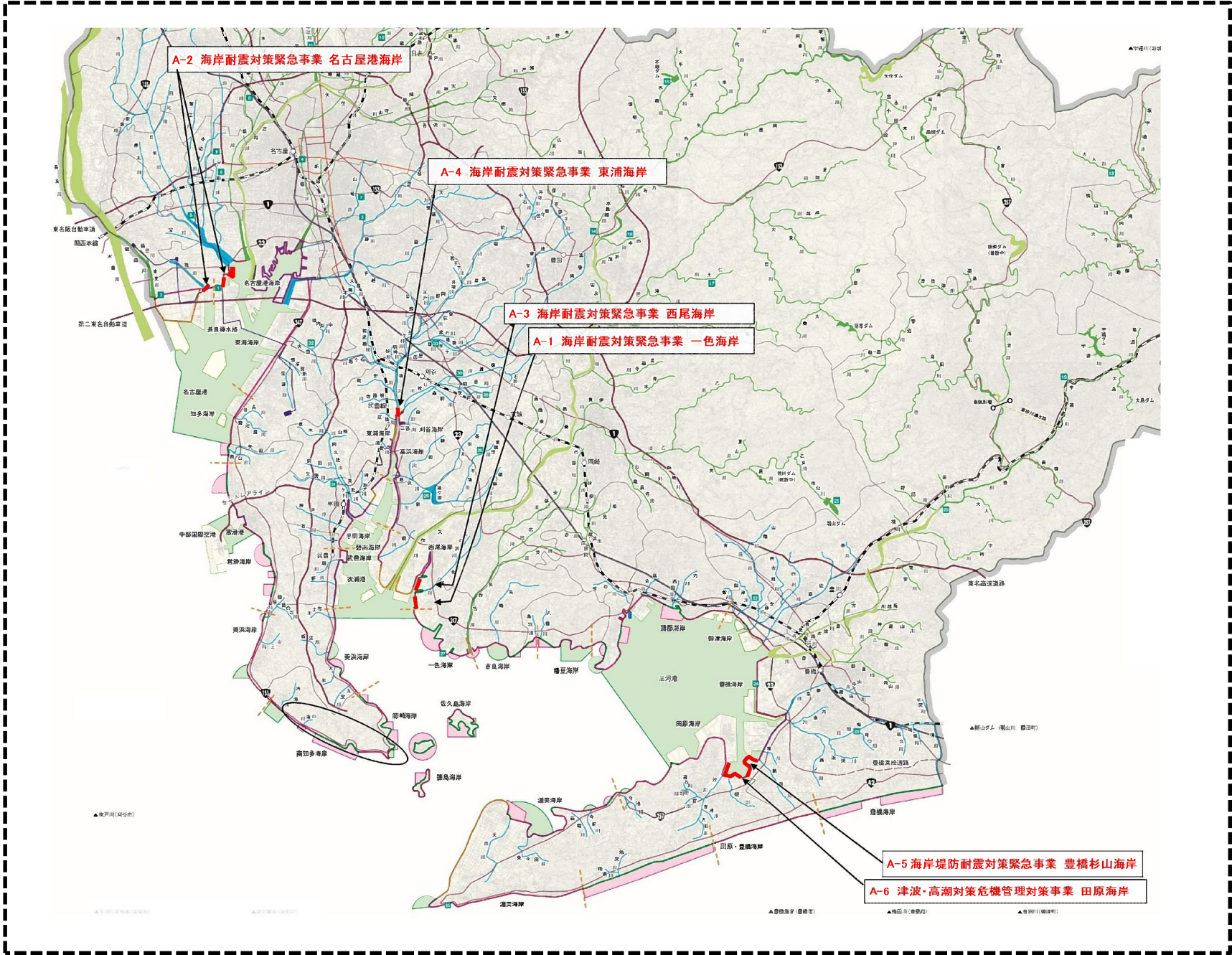
◆今後の方針

- ・R2年度から新たな計画により、堤防の耐震化、老朽化対策や水門の耐震化及び自動化を総合的に実施し、安全・安心な地域づくりの実現に努める。
- ・未完了の事業については、早期整備完了を目指す。

◆事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	策定主体にて評価を実施。
事後評価の実施時期	2022年3月
公表の方法	WEBページ掲載 (https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/0000039039.html)

参考図面



【基幹事業】**■事業名**

名古屋港海岸 海岸耐震対策緊急事業

■工事概要

伊勢湾湾奥部に位置し、背後は名古屋港の海面埋立て地で臨海工業地帯となっている。また、背後地の地盤高は、複数の市町村に渡って海面よりも低いゼロメートル地帯が広がっており、水害を受けやすい地域特性を有している。

南海トラフを震源とする地震・津波について検討し、地震動波形を用いて動的変形解析による耐震性能を照査したところ、想定される地震が発生した場合、液状化による沈下が発生し、必要天端高さを満足しないことがわかった。

したがって、海岸堤防の耐震対策を実施し、背後地のゼロメートル地帯における浸水被害を防ぐものとし、H31に対策が完了した。

■事業箇所

飛島村

■事業主体

愛知県

■事業効果

耐震性を備えた海岸堤防を整備し、背後地の浸水被害に対する安全度が向上した。



名古屋港海岸事業実施区間



名古屋港海岸事業完了箇所